

SCHOOL GUIDE

Tokushima Prefectural Johnouchi Secondary School

2026



徳島県立城ノ内中等教育学校

スクール・ミッション

県内唯一の中等教育学校として、「6年間」を見通したカリキュラムのもと、「先取り学習」や「国内外の中高一貫教育校との交流」、中高の切れ目のない部活動などを通して、社会が抱える諸課題を解決できる力を育成します。

※スクール・ミッションとは徳島県教育委員会が示した本校が期待される社会的役割やめざすべき学校像のことです。

教育方針

高い志をもって 社会の平和と発展に 貢献できる人材の育成

— 豊かな人間性、国際性、創造性を育む中高一貫教育 —

めざす生徒像

人間性

社会貢献の自覚をもち、
仲間と共に学び合い、向上していく
人間性豊かな生徒



国際性

多様な文化・価値観を尊重し、
自己の考えや意思を表現できる
国際性豊かな生徒

創造性

科学技術に関心をもち、
主体的に考え、
追究することができる
創造性豊かな生徒

Let's make our dreams come true at Johnouchi !! (城ノ内で夢をかなえよう)

めざす学校像

- 世界に通じるグローバル人材の育成
- 進学面において本県中等教育を牽引する学校づくり

その実現のため、私たちは次の5つを学校の特色としています。

- 学力向上はもとより、県内全域から集まる仲間と共に、多彩な学校行事や部活動等を通し、豊かな人間性、国際性、創造性を育てます。
- 難関大学をはじめ、希望する進路に適した教育課程の編成や、将来を考える「未来を拓く講演会」の開催など、一人一人の夢の実現をサポートします。
- うっちな体験塾やゴルフ研修など本校独自の体験活動や課題研究、エシカル消費等に取り組み、協働の精神と社会に貢献する意欲や態度を育てます。
- 海外語学研修や国内外の中高一貫教育校との交流を通して、高いコミュニケーション能力をもち、グローバル社会に対応できる人材を育てます。
- 学びの原点となる好奇心を大切にし、「総合的な学習の時間」・「総合的な探究の時間」のプレゼン発表会の実施や全国規模のコンクール等にチャレンジすることで、探究心と科学的な思考力・表現力を育てます。

「学力分野のリーディングハイスクール」指定校

◆ 週34時間（前期課程）・週35時間（後期課程）授業

◆ 先取り学習

授業時間の増加により、高度化した教育内容に余裕をもって対応することができ、学習内容の理解・定着が向上します。また、前期課程3年生からは、後期課程の学習内容を一部先取りして、授業を行います。

DX（デジタルトランスフォーメーション）ハイスクール指定校

◆ 城ノ内LAB

本校は令和6年度から、文部科学省よりDXハイスクールに指定されています。地域におけるデジタル人材育成拠点としての役割を果たすことをめざし、ハイスペックPCや3Dプリンタなどの最先端ICT機器を設置した城ノ内LABを開設しています。1人1台端末やこれらの機器を最大限に活用し、生徒の「やってみたい」を形にできるクリエイティブな環境を整備し、授業や課題研究等において、プログラミングやデータ分析に取り組むことでデジタル分野におけるトップランナーの育成をめざします。



豊かな人間性



1・2年
[基礎期]

自己を知り、
他者を知ることを通して、
寛容さや思いやりをもつとともに、
自律した態度を身につける。

3・4年
[充実期]

○ 興味・関心を 高める体験

城ノ内では、夏季休業中に「うっちーな体験塾」を実施しています。普段の授業では学べない、教科の枠を超えた体験を通して、さまざまな分野への興味・関心を高めていくことを目的としています。毎年、アイデアにあふれた講座を開設しています。



● 地元の銘菓製造工程見学ツアー



● Play!Watch!Enjoy! 卓球



● ドローン体験



● 昆虫について知ろう



● 藍のふしぎと藍染め体験



● プロジェクションマッピング

○ 地域の活動

避難訓練やボランティア活動などの様々な活動を通して、地域の方々や他校の生徒と関わる機会がたくさんあります。



● 地域と連携した避難訓練



● ボランティア(子ども食堂)



● ひのみね支援学校との交流

社会貢献への自覚をもち、仲間と共に学び合い、向上していく

社会の発展に貢献しようとする高い志をもち、自分の夢を追いかける。
仲間を大切にし、切磋琢磨する。城ノ内はそのような生徒を育てたいと考えています。
そのためにさまざまな体験活動や平和学習などを通して、豊かな人間性を育てます。
また、ボランティア活動などを通して社会奉仕の精神や社会貢献への自覚を高めます。

他者との関わりの中で
互いを受容する力をつけ、
向上心をもって自らの使命や
社会での役割について考える。

5・6年 [発展期]

それぞれの興味・関心や特性を
社会との繋がりの中で生かし、
誠実さや感謝の心を
社会への貢献にかえる。

○ 学年・課程を 越えた学び

6年間の円滑な接続を図るため、学習面だけでなく学校行事や部活動等においても、学年や課程を越えた交流を積極的に行い、教員も6年間継続して生徒を見守っています。



●ほっと Room
ピアサポート活動



●部活動練習風景



●防災キャンプ



●後期生と語ろう



●体育祭

○ 絆を深める 体験活動

城ノ内では、学校の授業では味わえない学びや経験を通して、学年・ホームルームの絆を深めることをめざしています。自分たちで計画を立ててレクリエーションを行ったり、学びを校内で発表したりと、友達と協力して主体的に学ぶことができます。城ノ内生のかけがえのない思い出づくりの場でもあります。



●1年生 宿泊研修



●3年生 スキー研修



●5年生 修学旅行



●2年生 平和研修



●4年生 校外体験活動



●6年生 クラス体験活動



豊かな国際性



1・2年
[基礎期]

郷土を愛し、
ふるさとを知ることを基礎にして、
多様性を尊重する態度を
身につける。

3・4年
[充実期]

○ 独自科目 「グローバルイングリッシュ」

グローバルな視点から異文化を受け入れ、英語の時間に習得した知識・技能を活用し、スピーチやディベートなど、主に「書くこと」や「話すこと（やり取り・発表）」における、より高度で実践的なコミュニケーション能力を伸ばす教育を展開しています。



○ CALLシステム

CALL (Computer Assisted Language Learning = 語学学習支援システム) を導入しています。

生徒一人一人の力に合わせた個別最適な学びを実現しています。



○ 地域を知る

ふるさと徳島の歴史・文化を学び、その魅力を発信することで、郷土愛を深める学習を行っています。学びの成果のプレゼンテーションを行うことで、主体的に発信するための表現力を養います。

ふるさと徳島の歴史・文化を学び、その魅力を発信することで、郷土愛を深める学習を行っています。



●ふるさと徳島再発見



●徳島創生プロジェクト

○ 即興型英語ディベート活動



●PDA高校生即興型英語ディベート全国大会



●HPDU連盟杯(全国大会)(東京都)

本県初の本格的な「即興型英語ディベート活動」を実施しています。オンラインを活用し、他県の学校との練習試合を行いながら、各種全国大会、世界大会（アジア諸国）に出場しています。全国大会での優勝と世界大会上位入賞を目標に、後期課程の3年間を中心に、継続したトレーニングを積み重ねています。

多様な文化・価値観を尊重し、自己の考えや意思を表現できる

城ノ内では世界に通じるグローバルな視点をもった地域創生を担うグローバル人材の育成をめざし、様々な教育を行っています。

今後、グローバル社会で活躍できる人材を育成することはもちろん、多様な人々が共生できる地域づくりや地域の魅力を県外、海外に発信することが重要となります。多様な文化・価値観に触れることのできる本校での魅力ある取り組みを通し、地域の魅力を主体的に発信していくことのできるグローバルリーダーとしての資質を育成します。

多様な価値観と
公平な目をもって世界を俯瞰し、
正しく自らの意見を
発信する力をつける。

5・6年
[発展期]

地球全体に目を向け、
価値観の対立を克服し、
より良い社会の実現のために
責任ある行動をとる。

○ 海外語学研修



(参考：これまでの海外語学研修の様子)

前期課程の希望者対象にグアムでの1週間の語学研修、後期課程の希望者対象にオーストラリアでの約2週間の語学研修を予定しています。



豊かな自然に恵まれた場所で、親切的なホストファミリーや現地の人々と交流し、充実した時間を過ごしながらか、異文化を学び、実践的英語コミュニケーション能力を伸ばすことができます。



○ 幅広い国際交流

城ノ内では校内外の活動において、世界の様々な地域の人々と交流を深めています。世界の様々な学校とのオンライン交流、また海外留学生の受け入れ等など、幅広く国際交流に力を入れています。様々な国の歴史や文化を学び、多様な価値観を尊重しながら、実践的コミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。

【過去の実績】

- ヴィルヘルム・ラーベ中等教育学校への訪問(ドイツ)
- ドイツ・ニーダーザクセン州国際青年会議への参加(ドイツ)
- 留学生の受け入れ(フィリピン、フランス、インド、イタリア)
- JEYNESIS 日韓高校生交流プログラム(韓国)
- グローバルクラスルームへの参加(アメリカ合衆国)
- 世界の様々な学校とのオンライン交流(ブルガリア・アメリカ合衆国、中国(香港))
- 本校主催English Tour(パプアニューギニア、ブルキナファソ等)





豊かな創造性



1・2年
[基礎期]

多様な体験から
好奇心を育み、
問題意識と論理的思考力をもって
物事を判断する。

3・4年
[充実期]

○ 豊かな創造力は、ものづくりから Engineering

技術・家庭科で習得した知識や技能を活用し、様々なものづくりのコンクールにチャレンジしています。「ものづくり」を通して、自分で考えたものを創り出し、形にしていく楽しさや喜びを実感しています。

技術分野



● 自律制御型ロボットトーナメント smart U-15



● 全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト



● レーザーカッターを使った デジタルものづくり

家庭分野



● 第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア 「あなたのためのおべんとう」 コンクール 全国大会 日本家庭科教育学会会長賞



● 第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」 コンクール 全国大会 女子栄養大学学長賞



● 第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品コンクール(家庭分野) 全国大会 (一社)日本家政学会被服構成部会 奨励賞

探究心をもち、主体的に考え、追究することができる

本校では、STEAM教育、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（ものづくり）、Art（芸術、リベラルアーツ）、Mathematics（数学）を念頭に今後の社会に順応した競争力のある人材育成をめざします。多様な体験活動や6年間を通じた体系的な探究活動を通して文理融合型の豊かな創造性を育てます。全国大会や各種コンクールなどに積極的に挑戦し、継続的に取り組むことで、着実に力をつけています。

それぞれの興味・関心をもとに
主体的に考える力をもち、
他者と協働する中で、
粘り強く試行錯誤を繰り返す。

5・6年
[発展期]

体験や学びから得た知識を
課題解決へと結びつけ、
新しい価値を社会に発信する
行動を起こす。

○ 論理的な思考力を育てる

論理的に思考し、表現できるよう、1人1台端末や電子黒板を有効活用した「対話的な学び」を実践し、班活動や調べ学習の発表会などを行っています。また、新聞活用（NIE=Newspaper In Education）も実践しています。



● 1人1台タブレット端末を活用した授業

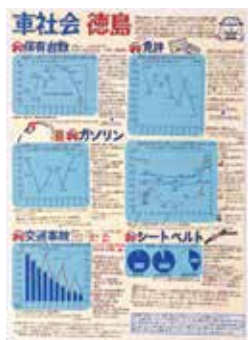


● 新聞閲覧コーナー

○ Science X Mathematics

毎年、各種検定や様々なコンクールにチャレンジしています。近年は科学の甲子園にて、県代表として全国大会にも出場しました。

また、統計グラフコンクールにおいて、徳島県知事賞をはじめ、各賞を受賞することができています。



● 統計グラフコンクール



● 科学の甲子園

○ 多様な学び・リベラルアーツ

本校では、授業だけでなく、様々な課外活動に積極的に取り組むことで、多様な学びを得ることができています。スポーツ、音楽、アートなどの活動を通して自己表現能力や問題解決能力を育成します。



● エシカル甲子園2021
内閣府特命担当大臣賞（第1席）



● 合同文化部展



● 合唱発表会



● 令和4年度鳥居龍蔵記念徳島歴史文化
フォーラム全国大会 最優秀賞

充実した学校行事

城ノ内生の一年



●4月 対面式



●5月 体育祭



●6月 クラス体験活動



●4月 入学式



●4月 宿泊研修



●5月 体育祭

4月

始業式・入学式
対面式
宿泊研修〈淡路島〉(1年生)

5月

授業参観・PTA総会
防災避難訓練
AED講習(1年生)
生徒総会・体育祭

6月

水泳実習(1～3年生)
修学旅行〈東京〉(5年生)
クラス体験活動(6年生)
WAKUWAKU新生活セミナー(4年生)

10月

中間考査
学校公開
平和研修〈広島〉(2年生)
防災避難訓練
吉野川堤防清掃

11月

校外体験活動(1年生)
生徒会役員選挙

12月

期末考査
球技大会
終業式
阿波踊り講座(1～3年生)



●10月 吉野川堤防清掃



●11月 校外体験活動



●12月 球技大会



●10月 平和研修



●11月 生徒会役員選挙



●12月 阿波踊り講座



●6月 水泳実習



●8月 うっちーな体験塾



●9月 文化祭



●6月 修学旅行



●7月 ゴルフ研修



●9月 文化祭

7月

期末考査
球技大会
ゴルフ研修(6年生)
終業式

8月

うっちーな体験塾(1~3年生)
オープンキャンパス参加(4~6年生)
アカデミックインターンシップ(2年生)
海外語学研修
始業式

9月

城ノ内祭
〔前日祭・文化祭〕

城ノ内は
ココ!

本校のイメージキャラクター
うっちーな



1月

始業式
予餞会

2月

人権教育映画会
学年末考査

3月

卒業式(6年生)
スキー研修〈北海道〉(3年生)
課題研究発表会
合唱発表会(1~3年生)
終業式



●2月 人権教育映画会



●3月 スキー研修



●3月 合唱発表会



●1月 予餞会



●3月 卒業式



●3月 課題研究発表会

部活動を通じた 仲間づくり

仲間と共に部活動に励み、心身ともにたくましく成長する城ノ内生。

1年生から6年生まで合同で練習している部もあり、それぞれのコンクールや大会での活躍がお互いの刺激となっています。



●陸上競技



●剣道



●硬式野球

●バレーボール



運 動 部

1～3年
前期課程

- 弓道
- 剣道
- サッカー
- テニス
- バスケットボール
- 陸上競技
- 軟式野球
- フェンシング

4～6年
後期課程

- 弓道
- 剣道
- 硬式野球
- サッカー
- テニス
- 登山
- バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール
- フェンシング
- 陸上競技



●バドミントン



●バスケットボール

●弓道



●テニス



●サッカー



●登山



●フェンシング

●書道



●百人一首



●演劇

文化 部

●パソコン



1～3年
前期課程

- 囲碁・将棋
- 英会話
- 演劇
- 音楽
- パソコン
- 書道
- 美術
- 技術
- 百人一首

4～6年
後期課程

- 囲碁・将棋
- 英会話
- 演劇
- 音楽
- 華道
- 茶道
- JRC
- 写真
- パソコン
- 書道
- 美術
- 文芸・放送
- レベラーズ
- 百人一首

●英会話（ディベート）



●英会話



●技術



●写真



●美術



●音楽（吹奏楽）

●音楽（弦楽）



●音楽



●文芸・放送



●囲碁・将棋

●茶道



●レベラーズ



●華道

ワクワク城ノ内Life

校時表は次の通りです。8時25分から朝のHR活動が始まります。本校では、想像力や発想力を豊かにしたり、授業への集中力を高めたりするために、8時10分から朝の読書を推奨しています。

令和7年度 校時表

職員朝会	8:10～8:20
S H R	8:25～8:30
1校時	8:35～9:20
2校時	9:30～10:15
3校時	10:25～11:10
4校時	11:20～12:05
給食	12:05～12:50
5校時	12:55～13:40
6校時	13:50～14:35
清掃	14:35～14:50
S H R	14:55～15:05

※前期は月は7校時を行いません。

7校時	14:55～15:40
S H R	15:40～15:50

前期課程1年生の1週間(例)

	月	火	水	木	金
1	英語	国語	理科	社会(地理)	数学(代数)
2	数学(代数)	家庭	英語	理科	音楽
3	国語	家庭	体育	グローバルイングリッシュ(CALL)	社会(歴史)
4	体育	社会(歴史)	国語	数学(幾何)	英語
5	総合	理科	数学(代数)	体育	国語
6	総合	数学(幾何)	社会(地理)	英語	道徳
7		グローバルイングリッシュ	美術	HR活動	音楽
放課後	部活動・委員会活動 等				



在校生が語る城ノ内

Mさん

私が思う城ノ内の授業の良さは、とにかく分かりやすく楽しいことです。楽しいだけでなく、思考力を高められるような工夫が盛りだくさんです。また、数学と英語の授業は先取り学習を行っているため、中学生から大学受験を見据えた学習が可能です。さらに、探究の活動も魅力的です。前期課程では、地方創生をテーマに取り組みます。城ノ内で楽しく学びながら、一緒に徳島を盛り上げましょう！

Aさん

城ノ内には、6年間をして仲間とともに成長できる魅力があります。毎年9月に開催される城ノ内祭は、中等教育学校ならではの学年を超えた交流ができる行事です。準備期間には、仲間とともに協力しながらアイデアを出し合い、達成感と友情を深めることができます。展示や発表、模擬店など、生徒の個性と工夫が光る企画が多く、楽しめます。Let's enjoy 城ノ内 LIFE!

Kさん

城ノ内では、前期・後期と合同で行っている部活動があり、より経験豊富な先輩方と交流することができます。また、このような先輩方がとてもフレンドリーで、新入部員も最初は緊張していたものの、すぐに馴染むことができます。今は、部活動中は笑顔であふれています。そして、県内では数少ない部活動があるのも魅力の1つです。ぜひ、この城ノ内で、私たちと一生忘れられないような思い出を作りましょう。

Yさん

城ノ内では先輩や後輩が仲良く、行事や部活動を通してかかわることができます。勉強も部活動も全力で取り組む「文武両道」の環境があり、新しいことに挑戦する機会もたくさんあります。楽しい授業に、盛り上がる行事、全力の部活動など。城ノ内には魅力であふれています！一緒に魅力しかない城ノ内で6年間を過ごしてみませんか？

制服紹介

夏服



冬服



Q&A

Q1

夏服は半袖じゃないと
だめですか？



A1

夏は半袖でも、長袖でも
大丈夫です！
体調に合わせて選べます。



Q2

女子の制服はスカート
だけですか？



A2

このようにスラックス
も選べます！
リボンの代わりにネク
タイでも大丈夫です。



Q3

合服ってなんですか？



A3

夏と冬の間の季節に着
るものです！
男女ともに学校指定の
セーターを着用しても
よいし、女子はベスト
もあります！



Q4

ネクタイやリボンの
色は選べますか？



A4

前期生は赤色で、後期生は青色になり
ます。どちらもおしゃれです！



探究活動の充実



国の動きの先を行く 45 分授業化による時間的余裕を生かし、6 年を一気通貫する探究活動を行い、問題解決能力を育成するとともに、こだわりをもって進路選択する姿勢を育てます。

探究活動とは？

生徒が自ら問いを設定して主体的に調査・分析し、課題解決に向けて探究的に学ぶ活動です。これは、生徒が主体的に学びを深めることを重視する学習方法で、本校では、前期の「総合学習」、「うちーなタイム (UT)」、後期の「未来設計」の授業を中心に行っています。

なぜ、探究活動を充実させるの？

技術・経済・環境・価値観などが急速に変化し、未来の予測が困難な現在社会では、自ら課題を発見して解決する力が求められているからです。

また、探究活動は学習意欲や思考力を向上させるとともに、自分の生き方を考える機会となるため、進路選択や職業観の形成にも役立ちます。

大学入試でも推薦型選抜などで、探究活動の成果が重視される傾向が強まっています。

令和7年スタート！

うちーなタイム (UT)

教科の垣根を超えた出前授業や生徒の活動を重視したワークショップなどの特別な授業を実施します。



探究サイクル

年間を通して、テーマ設定、調査、論文(レポート)執筆、発表の探究サイクルに取り組みます。1～5年生で5サイクル実施できるため、圧倒的な経験を積むことができます。

テーマ設定

- 生徒自身が探究活動で調査したいこと(探究テーマ)を設定します。
- 自分の興味関心を掘りおこす思考ツールやチームでアイデアを生み出すコミュニケーション方法を学びます。

探究ゼミ

異なる学年の生徒が集まる探究ゼミでは、先輩からのアドバイスがもらえます。



阿波文化学習

徳島の魅力の再発見を目的とした探究活動を通して探究スキルを学びます。(1年生)



調 査

- 生徒主体で調査方法を計画、実行します。
- 大学等のサポートを受けることもあります。
- 2年生のアカデミックインターンシップでは、学校を飛び出して地域課題の解決に取り組む大人たちにインタビューします。



社会でのキャリア形成

- 探究活動を通して身につけた、問題解決能力やコミュニケーション能力、そして、主体性や柔軟性などは変革の時代を生きるための基礎力として、キャリア形成に役立ちます。

大学等への進学

- 探究活動を通して自分の興味関心に向き合っているため、主体的な進路選択ができます。
- 学問への深い探究心と自主的な学びの姿勢は、大学等での学びをより良いものにします。
- 大学の総合型選抜や学校推薦型選抜等の入試では、探究活動の実績を活用することができます。

校内発表会

発表を通して、互いに成果を共有します。



校外発表会

県内外の発表会は、研究成果の発表だけでなく全国の仲間との出会いもあります。



チーム探究

2～4年生は共同研究方式で、探究チームを編成します。

個人探究

5年生は、これまでの経験を生かして、一人ひとりで研究に取り組みます。

論文執筆

- 2～4年生では、探究活動の成果を記録として残す方法を学び、レポートを作成します。
- 5年生は、探究活動の集大成として、論文を執筆します。論文は、推薦型選抜等の資料としても利用できます。

発表

- 研究成果を学校内外で発表します。
- 発表の方法は、スライドショーを用いたプレゼンテーションとポスターを作成するポスターセッションがあり、両方を経験します。

城ノ内LABから INNOVATIONの 創造を!!

取組



① 城ノ内LABの設置

生徒の創作活動の拠点として高性能機器を配備した部屋を整備。

- ① Mac mini
- ② レーザーカッター
- ③ 3Dプリンター
- ④ カラープリンター
- ⑤ LEGO SPIKE
- ⑥ iPad



② デジタル人材の育成

総合的な探究の時間において、数理・データサイエンス、ロボット工学等に関する研究に主体的に取り組むことのできる「ゼミ活動の時間」を設けます。

また、プログラミングで動かすことのできるレゴブロック、「LEGO SPIKE」を教育活動に取り入れ、生徒の考えを形に表現する機会を設け、**STEAM教育**を推進していきます。



③ ほんまもん講座

「ほんまもん講座」と称し、総合的な探究の時間の中で、希望制の講演会を実施します。

AIや統計学、マーケティング等の幅広い分野の一線で活躍している人をお招きする予定です。

- 第1回 「商品大ヒットの舞台裏」(マーケティング)
- 第2回 「医療×ビッグデータ解析」(医療・統計学)
- 第3回 「デジタルものづくりワークショップ」(AI活用)



育成する生徒像・取組による効果



- ① 「デジタルものづくり」の活動を通し、思考したことを形として表現できる生徒の育成をめざす。
- ② 生徒自身が得た知識やノウハウを地域や社会に対して波及することのできる発信力・行動力のある生徒の育成をめざす。

コンテストへの参加

- 中高生探究コンテスト(140名)
- 地方創生政策アイデアコンテスト(140名)
- 中学生・高校生データサイエンスコンテスト(7名)など

今年度参加予定のコンテスト

- smart2025
- WRO (World Robot Olympiad)
- FLL (FIRST LEGO League)
- 全国情報教育コンテスト
- など

城ノ内が分かる 6つのQ&A

1

中等教育学校とはどういう学校ですか。

本校は、2020年（令和2年）に中等教育学校に移行しました。中等教育学校とは、中学校及び高等学校で行う教育を、一つの学校として6年間で一体的に行う学校のことです。中学校に相当する3年間を「前期課程」、高等学校に相当する3年間を「後期課程」といいます。生徒募集は前期課程でのみ行います。城ノ内中等教育学校では、城ノ内中学校・高等学校で培ってきた教育を継承・発展させ、6年間を見据えた教育課程でのきめ細やかな学習指導・教育活動を行っています。



2

「学力分野のリーディングハイスクール事業」での具体的な取組は何ですか。

本校は、2013年（平成25年）に、徳島県教育委員会から「学力分野のリーディングハイスクール事業」の指定を受けました。中高一貫教育校のメリットを最大限に生かして、進学面等において本県中等教育を牽引する学校づくりをめざし、次のような取組を行っています。

- ① 学習時間を充実させるために、前期課程では、週当たりの授業時数を34時間（各学年標準時間+5時間）に増やしています。
- ② 国語・数学・理科・英語については、前期課程3年生から、後期課程の学習内容を一部移行して先取り学習をしています。社会についても、一部発展的な内容を取り入れています。
- ③ グローバル人材の育成をめざし、本校独自科目「グローバルイングリッシュ」を開設し、生きて使える英語学習を行うとともに、CALL（語学学習支援）システムを活用し、英語の4技能をバランスよく学びつつ、英語検定などにも積極的に挑戦しています。

3

「先取り学習」はどのように行うのですか。

国語・数学・理科・英語については、1年生から計画的に通常の進度に先んじて学習を進め、3年生からは後期課程の内容の学習を始めます。特に、一般の高校では、授業時数の確保が課題となっている学校も多いですが、本校では、ゆとりを持って各科目を広く深く学ぶことができます。また、3年生から数学・英語の習熟度別少人数授業も始め、「わかる授業」を行います。



4

進路実現に向けて、どのような指導を行うのですか。

本校は、確かな学力の育成と進路希望の達成に全力で取り組んでいます。前期課程・後期課程の6年間を見通した切れ目のない組織的・計画的な指導のもと、生徒は高い目標を持ち、その実現に必要な学力が身に付くよう切磋琢磨しています。特に、後期課程では、生徒一人一人の希望に応じた進路指導を行っており、具体的には、進路別の授業、小論文及び面接の指導、個別指導の充実など、きめ細やかな指導を展開しています。

5

遠距離通学は可能でしょうか。

可能です。前期生の40%近くは、徳島市外から通学しています。1年生のはじめは慣れないため大変そうですが、次第に体力もつき、通学の隙間時間を読書や勉強時間などに活用していますので、遠距離通学によるデメリットも少ないようです。今年度の通学方法としては自転車が約64%、汽車が約18%、バスが約6%となっています。

6

城ノ内中等教育学校の前期課程を修了した後、他の高等学校に進学することはできますか。

本校は、6年間の計画的・継続的な教育を行っていますので、前期課程を修了した後は、後期課程に進級することが原則です。ただし、他県への一家転住など、やむを得ない場合は、他の高等学校に進学することは可能です。他の高等学校への進学を希望した場合は、城ノ内中等教育学校後期課程への進級はできません。

6年間の学習スタイル

6年間で2年間ずつ基礎期・充実期・発展期の3期に区分し、それぞれの発達段階に応じて重点の置き方を変え、一貫性のある学習スタイルのもと計画的・継続的な指導を行います。



教育課程の概要

前期課程（週34時間）			後期課程（週35時間）		
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
基礎期			充実期		発展期
○基礎・基本の習得と主体的な学習態度の確立 ○将来を見通す自己理解の推進			○習熟度別少人数授業を取り入れた生徒一人一人に応じた学習の充実 ○自己発見の進展と視野の拡大		○文系・理系コース別による適性や能力の伸長 ○進路に応じた学習の充実

毎日の授業に 真剣勝負

「わかる授業」をめざして、研究授業や授業研究会を実施し、授業力アップを図っています。「学校総合評価」として、生徒が授業を受ける自分の態度をチェックすると同時に、すべての先生の授業を評価します。

習熟度別少人数授業

3年生から英語・数学の授業では「習熟度別少人数授業」を導入し、「わかる授業」の実践を通して意欲を高め、すべての生徒の学力を最大限に伸ばす指導をしっかりと行います。

進路希望をかなえる 充実したガイダンス

学習実態調査、三者面談、学年別PTA、進路講演会、随時実施される個人面談など、いろいろな機会・いろいろな形態で進路に関する疑問を解消し、自分の進路を獲得できるようサポートしていきます。

放課後の 充実した自主学習

早朝や放課後、会議室・図書館・進学資料室を開放しています。図書館には、個人ブースが約40あり、また、ゆったりとした大きな学習机も、たくさん並んでいます。進学資料室には、大学別の過去入試問題集や大学、短大、専門学校等の学校案内が棚いっぱい並び、休み時間や放課後などいつでも閲覧できます。

卒業生が語る城ノ内

(令和7年3月卒業生)

東京大学 教養学部 中原 光翼



私は小学生のころから化学に興味を持ち、自分なりに研究に取り組んできました。城ノ内中等教育学校に入学してからは、化学の学びをさらに深めることができ、同じように理科が好きな仲間と切磋琢磨しながら実力を伸ばすことができました。その成果の一つとして、クラスの仲間と挑戦した「科学の甲子園ジュニア」では、初めての参加で全国大会に出場することができました。また、全国の中高生が競う「化学グランプリ2024」では、大賞を受賞するという大きな目標も達成することができました。城ノ内中等教育学校には、こうした自分の興味をほとんど探究できる環境が整っていると感じています。まだ自分のやりたいことがはっきりしていない人でも、先生方が親身になって関わってくださるので、一緒に考えながら少しずつ見つけていくことができると思います。高校受験がない分、他の学校よりも早い段階で自分自身と向き合う時間が多く、自分の「好き」や「得意」を深めるチャンスがたくさんあります。だからこそ、大切なのは「入学すること」そのものではなく、「入学してから何をするか」だと思います。城ノ内には、徳島県内各地から中学受験を乗り越えてきた意欲ある仲間が集まっていて、毎日が良い刺激にあふれています。ともに高め合いながら、確かな力をつけていける場所です。これから中学受験を目指すみなさんも、ぜひ自分の「やってみたい」「知りたい」という気持ちを大切に、城ノ内でいろいろなことに挑戦してほしいと思います。応援しています！



京都大学 教育学部 小川 明莉

私の城ノ内中等教育学校での6年間は、小さな自信を一つひとつ積み重ね、それがやがて大きな自信へと変わっていく、かけがえない時間でした。毎朝の学習や探究活動の発表、茶道部での稽古やお点前の披露など、城ノ内での日々の経験のすべてが、今の私を形づくってくれたと感じています。その毎日のそばには、6年間で共に過ごし、支え合える友人たちがいました。文化祭や体育祭ではクラス全員で力を合わせて取り組み、数えきれないほどの笑顔と思い出を共有しました。6年生になってからは、大学受験に向けた勉強が本格化し、時には苦しいと感じることもありましたが、高い志を持ち、共に努力する仲間たちの存在が大きな支えとなりました。また、城ノ内の先生方は、将来の進路について親身に相談に乗ってくださるだけでなく、志望校対策にも最後まで丁寧に寄り添ってくださいます。教育に対する漠然とした興味を抱いていた私が、京都大学教育学部を目指し、最後までやり抜くことができたのも、先生方の熱意と支えがあったからこそです。城ノ内中等教育学校は、一人ひとりの「やってみたい」という気持ちや、小さな自信の芽を大切に育ててくれる学校です。ここで信頼できる仲間や先生方に出会い、自分の未来に向けて、一歩ずつ歩み始めてみませんか？

進路状況

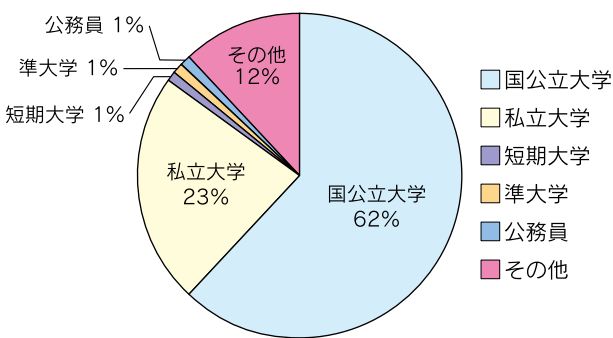
	進 学										就 職			その他
	4年制大学			短期大学			準大学	専門学校	海外の 学校	計	公務員	一般企業	計	
	国立	公立	私立	国立	公立	私立								
卒業生	69	10	29	0	0	2	1	0	0	111	1	0	0	15

合格状況（過年度生を含む） ※R2より5クラス編制
※R5より4クラス編制

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
東京大学		1			2
京都大学	3	7	4	2	5
北海道大学	4			2	1
東北大学		1	1		
一橋大学	1				1
東京工業大学					
名古屋大学	4	3	2	1	3
大阪大学	5	1	2	9	2
神戸大学	4	5	5	5	7
九州大学		1		1	1
* 難関 10 大学	21	19	14	20	22
広島大学	8	4	8	6	8
岡山大学	6	5	5	5	6
(県内大学)					
徳島大学	38	46	22	26	25
鳴門教育大学	5	1	5	1	2
国公立全体	127	122	113	102	95
国公立大医学科	3	7	4	7	6
* 私立大医学科	2	2	4	3	2
難関 10 大 + 医学科計	26	28	22	30	30

防衛医科大学校(医学)			1		2
防衛医科大学校(看護)	2				
防衛大学校	1	1		1	
文科省所管外大学等	1				4

令和6年度（R7年3月卒）卒業生〈127名〉の進路



年 度	R2	R3	R4	R5	R6
早稲田大学	4	8	4	3	8
慶應義塾大学	2	3		6	3
上智大学	1				2
関西学院大学	7	7	21	6	4
関西大学	5	22	22	11	7
同志社大学	14	8	12	10	11
立命館大学	23	34	32	31	13
(県内大学)					
四国大学	26	21	17	9	9
徳島文理大学	19	32	18	7	11
私立大学全体	293	365	309	220	202



徳島大学 医学部医学科 堀 遥菜

私は、この春に6年間通った城ノ内中等教育学校を卒業しました。城ノ内での活動は、勉強はもちろんのこと、部活動に学年行事と多岐にわたりました。私は、1年生から卒業まで英会話部に所属していました。3年生からは、English Debating Societyに参加し、英語ディベートを行ってきました。全国の同世代ディベーターと競い合えた経験、そして仲間たちと切磋琢磨した経験は、今でもかけがえのないものです。また、韓国での文化交流やアメリカでの大学キャンパスツアーに参加する機会がありました。多くの学びを得ることができ、感謝しています。学習面では、先取り学習により受験対策に時間をかけることができます。私はよく放課後に職員室へ行き、分からない問題を先生方に質問していました。大学受験においても、先生方の熱心な指導を受けることができ志望校に合格することができました。みなさんは、どのような学生生活を送りたいと考えていますか？城ノ内では、様々な経験ができると思います。ぜひ城ノ内で、有意義な時間を過ごしてください。

早稲田大学 政治経済学部 鎌田 耀太郎



私は、徳島県立城ノ内中等教育学校の第2期生として、6年間を城ノ内で過ごしました。城ノ内は、学習に集中できるとても良い環境が整っている学校だと思います。中等教育学校であるため、高校受験のための勉強が必要なく、その分、自分の好きな分野や苦手な科目の克服に時間を使うことができます。また、一部の教科では他の学校よりも早い段階で学習を進めることができるのも、城ノ内の大きな特徴です。特に数学はその一例で、2年生で中学数学を学び終え、3年生で数学Ⅰ・Ⅱの内容のほとんどを学習します。高校数学についても、5年生のうちに全範囲を終えることを目標とするカリキュラムになっているため、大学受験までに十分な準備時間を確保することができます。その結果、他の高校生よりも数学だけでなく英語も約1年のアドバンテージを持って受験に臨むことができ、ほかの科目の学習や対策にも余裕をもって取り組める点は、大きな強みです。さらに、城ノ内の先生方はとても親切で、質問や相談にも丁寧に応じてくださいます。やる気があれば、どんな課題にもしっかりと向き合える環境が整っているため、「ついていけなくなるかもしれない」と心配する必要はありません。このように、城ノ内には学びに集中できる素晴らしい環境と、熱心に支えてくださる先生方がいます。みなさんも、ここでの6年間を通して、自分の可能性を広げてみてください。きっと充実した学校生活が送れると思います。

令和8年度 徳島県立城ノ内中等教育学校 生徒募集選抜要項

1 募集定員及び出願資格等

- (1) 募集定員 140名
- (2) 出願資格
 - ア 保護者の現住所が徳島県内にあり、令和8年3月に小学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校前期課程(以下「小学校」という。)を卒業又は修了する見込みの者
 - イ 特別な事情があり、徳島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が出願を許可した者
- (3) 通学区域 県内全域

2 出願

- (1) 受付期間

令和7年12月7日(日)から9日(火)まで

なお、受付時間は午前9時から午後5時までとし、最終日に限り正午までとします。
- (2) 提出書類

出願は、保護者が次の書類等を徳島県立城ノ内中等教育学校長に提出して、直接行うものとします。

※郵送の場合は、書留速達・親展で12月9日(火)正午までに必着です。

ア 入学願書 イ 受検票 ウ 調査書 エ 選抜結果通知用封筒
- (3) 提出先

徳島県立城ノ内中等教育学校

〒770-0003 徳島市北田宮1丁目9番30号
- (4) 受検票の交付

入学願書等を受理した後、直ちに志願者に受検票を交付します。
- (5) 県外からの出願

保護者とともに県内に転住することが明らかである場合など、特別な事情がある者は、出願に先立って、教育委員会の許可(入学志願許可書の交付)を受けなければなりません。

3 検査の実施

- (1) 実施日及び会場

令和8年1月10日(土) 徳島県立城ノ内中等教育学校
- (2) 日程

受 付	8時30分 ～ 9時20分
点 呼 ・ 注 意	9時30分 ～ 9時45分
検 査 I	10時00分 ～ 10時55分 (55分間)
検 査 II	11時25分 ～ 12時15分 (50分間)
面 接	13時15分 ～
- (3) 検査内容及び方法
 - ① 適性検査

自己の考えや意見を表現する力や、課題を発見し、追究し、解決する力など、小学校教育において身に付けた多様な力をみるために、次の検査を行います。

検 査 I	英語の音声から聞き取った内容や情報をもとに、判断して問題の解決を図ったり、資料等から読み取った内容や情報をもとに、自己の考えをまとめ、文章等で表現したりする。
検 査 II	生活に関連する事柄等について、課題を見だし、多様な解決方法を考え、その解決を図る。
 - ② 面接

志願者の目的意識、意欲や長所をみるために、集団面接を行います。

4 選抜の方法

調査書、適性検査の成績及び面接の結果を資料として、志願者の意欲や適性等を総合的に判定し、入学予定者を選抜します。

※地域別に入学者数を決めたり、男女別の定員を定めたりすることはありません。

以上の内容について、詳しくは「令和8年度 徳島県立中学校及び徳島県立中等教育学校生徒募集選抜要項」をご覧ください。

スクール・ポリシー（本校の教育活動の指針となる3つの方針）

【育成をめざす資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉

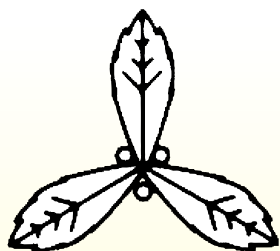
- (1) 社会の発展に貢献しようとする高い志を持つ生徒を育てます。
- (2) 一人一人の個性や可能性を大切にし、自主性や協調性を育てます。
- (3) 学校行事や部活動等を通し、豊かな人間性、国際性、創造性を育てます。
- (4) 仲間を大切にし、切磋琢磨する生徒を育てます。
- (5) 実践的な英語力を身につけ、グローバル社会に対応できる能力を育てます。
- (6) 好奇心を大切にし、探究心と科学的な思考力・表現力を育てます。
- (7) 総合的な学習（探究）の時間等を通し、ふるさとを誇りに思う心を育てます。

【教育課程に関する方針】〈このような教育活動を行います〉

- (1) 前期課程で週34時間、後期課程で週35時間の授業を実施します。
- (2) 先取り学習（国語、数学、理科、英語）を行い、6年間計画的に学びます。
- (3) 『グローバルイングリッシュ』等の学校独自の科目を設定します。
- (4) CALL（語学学習支援）システムを活用した英語の授業を実施します。
- (5) 総合的な学習（探究）の時間では課題研究やエシカル消費等に取り組みます。
- (6) ICTを活用し、確かな学力を身につける授業を展開します。
- (7) うっちーな体験塾やゴルフ研修など本校独自の体験活動を行います。

【入学者の受入れに関する方針】〈このような児童を待っています〉

- (1) 多様な価値観を尊重し、自分や他人を大切にしようとする児童を募集します。
- (2) 他人と考えを伝え合い、自分や集団を高めようとする児童を募集します。
- (3) 読書やいろいろな体験活動から学び続けようとする児童を募集します。
- (4) 外国語や異文化に関心が高く英語の能力を伸ばそうとする児童を募集します。
- (5) 自然や科学技術に関心を持ち、それを調べようとする児童を募集します。
- (6) 部活動や生徒会活動等に積極的に取り組もうとする児童を募集します。
- (7) コンテストや検定等にチャレンジしようとする児童を募集します。



校章の由来

本校の校章は、県の木やまももをデザインしたものです。

それぞれの葉は、校訓である

「自主」 ・ **「協同」** ・ **「前進」**

そして、3つの実は

知 ・ **徳** ・ **体**

を表しています。



A B
1 2 3 C



徳島を思い世界に羽ばたく



●お問い合わせ

徳島県立城ノ内中等教育学校

〒770-0003

徳島市北田宮 1 丁目9番30号

TEL : 088-632-3711・3712

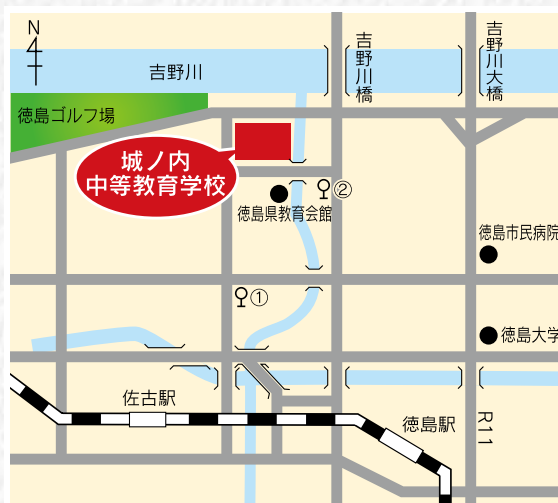
FAX : 088-633-0126

URL :

<https://johnouchi-ss.tokushima-ec.ed.jp>

E-mail :

johnouchi_ss@mt.tokushima-ec.ed.jp



- 最寄りの交通機関
- 徳島市営バス① 東田宮下車 徒歩 10分
 - 徳島バス② 吉野本町6丁目下車 徒歩 10分
 - JR 佐古駅下車 徒歩 20分